

県央基幹病院の基本計画どおりの建設及び加茂病院を始めとした 県立病院の県による運営と医師確保を求める要望書

平素より加茂市・田上町地域医療体制の充実につきまして、格別のご高配とご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

県央基幹病院は、県当局と県央市町村長、医療関係者が約 7 年間に及ぶ議論を重ねてきた「県央基幹病院整備基本計画」に基づき、救命救急センターを併設した基幹病院として、令和 5 年度早期開院に向け整備が進められてきたところです。

しかし、県央地域住民がその早期完成を切望する中、県が県財政の悪化や県立病院の赤字運営を背景に、行財政改革推進会議の議論を踏まえ、地域医療構想調整会議において基本計画の検証を行っておられることは、誠に憂慮に堪えないところです。

全国でも極めて深刻な医師不足である新潟県において、その兆候がより顕著な県央医療圏は、救急搬送が圏域外となる割合が県内でも極めて高い地域です。

さらに加茂地域消防署の県央圏域外救急搬送割合は、基本計画策定時の平成 26 年の 23.0% に対し、平成 30 年は 29.2% と 6.2 ポイントも上昇するなど、急激に悪化の一途をたどっている現状です。圏域外搬送割合が高いということは、一刻を争う重篤な患者の命が保障されないことであり、救える命を救えないということが危惧されます。

県央基幹病院については、長期に渡り議論を重ねてきた基本計画を尊重し、計画どおりのスケジュールと規模で整備されるよう強く要望いたします。

さて、本年 9 月に県立加茂病院が素晴らしい建物として改築されました。加茂田上地域の住民にとって、長年の願いが実現されたものであり、心より感謝申し上げます。

先般、知事は県央基幹病院の見直しに当たっては、開院が実現したばかりの県立加茂病院と一体で進めると表明されました。

県立加茂病院は、地域に密着した医療を提供するとともに、県央基幹病院を後方支援する重要な拠点病院です。しかし、開院時に予定されていた全診療科への常勤医師の配置はなされず、従前の人員配置での開院となりました。現状の医療環境では、急性期疾患や救命救急に十分に対応できません。また、

加茂田上地域住民が切望する安心して産み育てられる産科・小児科医療体制の整備においても医師の確保は最重要課題と思われます。

県立加茂病院を今後も県立病院として運営を維持し、医師確保を始めとする医療体制を充実されることを強く要望いたします。

併せて、県民の命を守るために最優先されるべき医療環境の整備は、県の財政問題と同一視することなく、計画どおり推進されるよう地域住民一同切に要望いたします。

令和元年12月26日

新潟県知事 花角英世様

新潟県病院局長 岡俊幸様

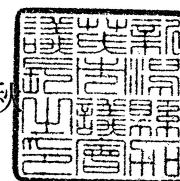
加茂市長 藤田明美



田上町長 佐野恒雄



加茂市議会議長 滝沢茂秋



田上町議会議長 熊倉正海

